

外貨建て終身保険で分散投資

日経平均株価や為替相場など市場は乱高下を繰り返す荒れ模様が続いています。こうした中、日本円だけではなく、外貨建て資産をポートフォリオに組み入れるという考えが注目されています。外貨建て資産として、外貨預金や外債、外貨建てMMFなどに注目が集まりがちですが、その1つに「外貨建て生命保険」という選択もあります。今回は、外貨建て終身保険について考えてみましょう。

『外貨建て終身保険』の基本的な仕組み

外貨建て終身保険とは、その名の通り、外貨で保険金が支払われる終身保険です。円建ての終身保険との違いは、**保険金や保険料を外貨で支払い**する以外は、ほとんど変わりがありません。

『外貨建て終身保険』と『(円建て)終身保険』を比較

- ・**保険金**・・・終身保険の特徴として、**契約成立時から終身保障**が発生します。円建ての場合、保険金は円で支払われます。外貨建て終身保険の場合、保険金は**原則として米ドル等の外貨**で支払われます。
- ・**保険料**・・・円建てと外貨建ての2種類の終身保険を同額の保障で比較した場合、外貨建て終身保険の方が**保険料が割安**です。
- ・**解約返戻金**・・・終身保険の特徴として、**解約時に解約返戻金**があります。解約返戻金は**保険料の払込が終了すると、払い込んだ保険料よりも解約返戻金が増えます**。その後も、解約返戻金は**増加を続けます**。ただし、**早期(保険料払込終了前)で解約**を行った場合、払い込んだ保険料よりも解約返戻金が増えなくなるため、注意が必要です。円建てと外貨建ての2種類の終身保険を比較した場合、外貨建て終身保険の方が、**解約返戻金の増加率が高くなります**。
- ・**予定利率**・・・保険金や保険料、解約返戻金を計算する際、**予定利率が大きく影響**します。円建てと外貨建ての保険商品を比較した場合、**予定利率が高いのは外貨建ての保険商品**です。予定利率が高いと、保険料が割安になり、解約返戻金の増加率が高くなります。

『外貨建て終身保険』のリスクと考え方

- ・**為替リスク**・・・外貨建て終身保険は、外貨をベースに保険金の受取り、保険料の支払い、解約返戻金の受取りが行われます。そのため、**為替の影響**を大きく受けます。保険料・保険金、解約返戻金は、保険会社の所定の為替レートにより日々変動します。

※保険会社により、保険料・保険金、解約返戻金の算定方法は異なります。

また、その他の手数料は考慮していません。

円高の場合、保険料の負担が減りますが、**保険金や解約返戻金も少なくなってしまう**。反対に、**円安**の場合、**保険料の負担は増えますが保険金や解約返戻金も増えます**。

- ・**長期投資**・・・為替は日々変動します。保険料の支払い方法を**月払・年払**などで**時期を分散**することにより、**保険料の負担を平準化**することが可能となり、長期投資の効果が期待できます。(詳しくはvol.100「資産運用のキホン」をご覧ください)

リスクを十分理解した上で、**保険料負担は長期投資のメリット**を享受しつつ、**分散投資の投資対象の1つ**として『外貨建て終身保険』を活用してみませんか？

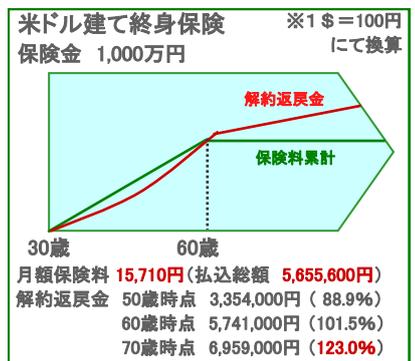
※2013年6月7日現在の法令に基づき制作しています。

また、本資料に記載された情報に関しては信頼ある情報源から入手したものではありませんが、その正確性は弊社で保証するものではありません。

弊社は、この情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。



契約例※) 30歳男性、60歳払込終了



※保険会社・契約内容・年齢等により異なります。

株式会社みどり財産コンサルティング
 760-0062
 高松市塩上町3-1-1
 TEL 087-834-0122
<http://www.midori-zc.co.jp/>